



愛媛県・私立新田青雲中等教育学校 進路課  
菊池岳史 + 森實宏之

## 生徒の夢をかなえるために 「手加減なし」の関係であり続ける

「生徒のために」を胸に  
いつも本音で語り合う

**菊池** 今から4年前、本校創立から9年目に森實先生と一緒に進路課に配属された時に、「お互いに手加減なしでいこう」と話をしましたよね。

**森實** はい、よく覚えています。「進路室は生徒の夢をかなえる最前線であり、私たちの仕事の全ては、生徒の未来に還元されるという覚悟で臨もう」と菊池先生は私におっしゃいました。そして、私が忙しさを言い訳にしている時などに、その甘さをはつきりと注意してくださったことも何度かありました。目の前のことで頭がいっぱいになりがちな私は、学校や生徒の未来を常に考えるという教師としての姿勢を菊池先生に教わりました。

**菊池** 中高一貫校としての進路指導のあり方を構築しながら、教材研究にも取り組む。そんな濃密でハードな日々を一緒に過ごしてきたから、森實先生を信頼し、「それが生徒のために最善の指導なのか」といったことを遠慮なく伝えられたのだと思います。

**森實** それでも、菊池先生は私を気づかって、手加減してくださっているよ

ですよね。「あの時は、実はかなり手加減したからね」と、笑顔で教えてくれることがよくありますから。

**菊池** 生徒のためを考えれば、共に働く同僚とはいえ妥協は許されないけれど、一方で、森實先生が一生懸命やっているということも、よく分かっています。だからこそ、はつきり言い合えるけれども、お互いを思いやれる関係でありたいと私は思っています。

多くの同僚と共に  
体系立った指導を磨き上げたい

**菊池** 進路課が今、力を入れていることは、6年一貫の進路指導システムを磨き上げ、教師と生徒で共有することです。昨年度、学年主任と教科主任が一堂に会して、6年間の進路行事の意義や相互の関連性について、生徒と教師双方の視点で言語化する取り組みを行いました。約4か月にわたり議論を重ねましたが、それぞれの教師の持ち味を生かしながらも、目指すゴールを共有する良い機会になったと思います。

**森實** 例えば、中学校で職業研究が始まる時期になってから、急に職業のことを話題にするのではなく、日頃から少しずつ社会とのかかわりを考えるよ

貪欲に、そして協働的に、  
より良い指導を構築したい

学校とは、生徒の夢をかなえるためのスタート地点だと私は思っています。教師の言動は、全て生徒の未来につながっていくからこそ、「頑張ります」といった言葉だけで済ますことは、私たちには許されません。だから、森實先生とはお互いに妥協することなく、いつも本気で語り合ってきたのです。進路課の仕事も教科指導も、現状に満足してしまっただけでは成長はありません。常に、「もっと良くなるはずだ」「まだまだこれからだ」と貪欲であり続けたいと思います。進路課として、これからも先生方の声に耳を傾け、質の高い6年一貫の進路指導を協働的に構築していきます。



愛媛県・私立新田青雲中等教育学校  
菊池岳史 42歳

きくち・たけし 教職歴17年。同校に赴任して11年目。国語科。進路課長。九州産業大学付属九州産業高校を経て、新田青雲中等教育学校へ。

にっ た せい う ん  
**愛媛県・私立新田青雲中等教育学校**

◎「健全有為な人材の育成」と「優秀な船長の育成」を教育理念として開校。「徹底した学力養成」を目指したカリキュラムを構築し、少人数の習熟度別授業や選択授業、個別指導など、個に手厚い指導を展開。更に、「剣道」「柔道」「弓道」「茶道」「華道」を授業に取り入れた「心の教育」、海外研修や学校行事を通じた「感動の教育」にも重きを置く。また、近年「グローバル力の育成」にも全校体制で取り組んでいる。

◎設立 2003 (平成 15) 年 ◎形態 全日制/普通科/共学 ◎生徒数 1学年約 100 人

◎2015 年度入試合格実績 (現浪計)

国公立大は、北海道大、大阪大、神戸大、岡山大、愛媛大などに 38 人が合格。私立大は、早稲田大、中央大、東京理科大、明治大、同志社大、関西学院大、関西大、立命館大などに延べ 227 人が合格。

◎URL <http://www.nitta-seiun.ed.jp/>



うな問い掛けをするなど、生徒の成長を見通した指導の大切さを私は学びました。6年間の指導の流れをみんなで練り上げていくプロセスを体験して、「こういう活動が学校力の底上げにつながるのだ」と実感しました。

**菊池** 他校の指導をそのまま持つてくるのではなく、本校の教師が、生徒の表情を思い出しながら、自分たちで指導計画を磨き上げていくという喜びを教師全員で共有することが大切なのだと思います。更に、進路課としては、課題探究型の学習活動やアクティブ・ラーニングの導入などについて、先進

事例から学びながら、校内に情報発信をしていくことも今後の目標ですね。

**森實** いろいろな人脈を駆使して最新の情報を収集する菊池先生のことを尊敬しています。私も、「教師の勉強不足によって、生徒が不利益を被るようなことは絶対に許されないと肝に銘じて、学び続けていきたいです。

**菊池** 私が研究報告書などを読んでみると、森實先生はすぐに「それで、何ですか？」とのぞき込んできますよね。たくさんのお仕事を抱えながらも、新しいことに関心を持つとうとする姿勢に私も刺激を受けています。

**意見の衝突を恐れられない  
 「強い教師」になりたい**

本校は比較的若い世代の教師が多い学校です。他の分掌の先生方と積極的にコミュニケーションを取り、校内の様々な意見を吸い上げていくことが、進路課の若手教師である私に期待されていると思っています。それぞれの先生方にはそれぞれの思いや考えがありますから、時には意見がぶつかることもあるでしょう。でも、生徒のことを考えたら、衝突を恐れるわけにはいきません。私も菊池先生のように、自分の責任を全うしながら、周囲の先生方に分かりやすい言葉で説明し、良い影響を与えられる教師になるのが目標です。菊池先生のような「強い教師」になりたいのです。



愛媛県・私立新田青雲中等教育学校  
**森實 宏之 35 歳**  
 もり ざ ね ・ ひ ろ ゆ き 教職歴 11 年。同校に赴任して 12 年目。地歴公民科主任。進路課。